<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－1>

Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

グループ名称	三河材でつくる木を活かす家づくりの会				
H30採択グループ番号	07	—	0757	—	0467

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループとして30年度に最も力を入れたのは、地域の皆様に山の見学会として「地域の山の木が家になるという過程」を知って頂く事です。山の木の伐採から製材などの過程を見学していただき、愛着のある家をメンテナンスして永く孫の代まで大切にしていただける事ができると考えています。また、地域の木材利用量の増加や森林・林業の再生にご理解いただく活動となりました。その他には長期優良住宅や省エネなどの性能について良質で安心して提供できるように構成員の研修やバックアップなども行いました。

B 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/02	名称	グリーン化事業について				●
	内容	構成員には募集時にメールにてあらかじめグループの取組やグリーン化事業の内容の説明が載ったエントリーシートを配布した。またグループ採択後に採択通知の通知と質疑の有無をメールにて確認していた。								
②消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称					
	内容									
	消費者説明会 2		開催日		名称					
	内容									
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日		名称	省エネ研修の案内配布	タイプ	座学		
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ			
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ			
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ			
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ			

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	未経験工務店には長期優良住宅等の具体的な要点を実際の物件で具体的に説明して理解をしてもらうように努めた。またメール等で事務局に質問を受付て臨機応変に対応した。
取組み②	サポートの有無 2		
	内容		
取組み③	サポートの有無 3		
	内容		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0	
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名			

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	事業者廃業時には対象住宅の検査を行い、対応を検討することを行う。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	グループ構成員に対して省エネ講習会への参加を呼びかけた。特にまだ講習をうけていない構成員には参加を促し、グループ内の住宅省エネ化に向けた取組みを強化した。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	0 社	

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－2>

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	三河材でつくる木を活かす家づくりの会				
H30採択グループ番号	07	―	0757	―	0467

A 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/29	名称	グリーン化事業説明会		
	内容	今年度の取組に関して共通ルール・H30年度との違い等の説明はすでにエントリーシートで説明しているが、さらに研修会の実施計画や申請方法等の説明を行う。また合わせて長期優良住宅や認定低炭素などの研修や省エネ講習の案内なども実施する。						
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/09/22	名称	居心地の良い住まいの作り方教室		
	内容	各構成員が行うイベント等にあわせて「居心地の良い住まいの作り方教室」としてセミナー活動を行う。内容は資金計画、土地探し、自然素材、建物の性能などとする予定						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/11/09	名称	山の見学会		
	内容	山の木が伐採され、製材し、木の家になるまでの過程や、建具や家具なども本物の木で作れる事を知っていただくことで木が持つ魅力を感じていただくと共に、日本の住文化の再発見を促し、また地域の森林・林業の再生にも寄与する事を知って頂く予定						
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/26	名称	長期優良住宅研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/08/26	名称	省エネ住宅研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	事務局内にサポート体制を構成し、未経験工務店の申請をサポートする。長期優良住宅や認定低炭素住宅などの内容や予算の違いなどが解りやすくするために具体的事例で説明等をするサポートも今年度も継続して実施する。	
取組み②	サポートの有無 2		
	内容		
取組み③	サポートの有無 3		
	内容		

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	今年度も事業者廃業時には対象住宅の検査を行い、対応を検討することを行う。	

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み （新築）	有	
内容	今年度実施される省エネ化に向けた研修会に関して受講を推奨する。	
省エネ化に対する取組み （改修）	有	
内容	既存住宅を対象に住宅の省エネ化に向けた研修や提案。省エネ診断を行う為の宣伝をする	

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/11/26	
内容	省エネ改修型に関する内容が公開されたのち改修の工法から省エネ診断や計算方法などの研修会等を開催する。			
研修計画 ②		実施日		
内容				

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　<様式3－3>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	三河材でつくる木を活かす家づくりの会				
H30採択グループ番号	07	—	0757	—	0467

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	三河材の質感、色艶、香り、木の調湿効果など木の特性・木の良さが感じられる住空間を実現し、街並に調和し地域の気候風土に根ざした様式と光と通風に配慮した造りを基本とする「木の家らしい木の家」が特徴です。また三河材を構造材から端柄下地材、板材、建具材などに出来る限り利用して地域材使用率が高くし地域の森林、林業の再生に寄与する事を提案します。性能としては東海地方では東海・東南海地震の危険性が指摘されていますので、長寿命型は耐震等級3とし、高度省エネ型でも耐震等級2の確保を推奨しています。また住まい手に安心して住まいづくりができるように資金計画から土地探しのサポート体制も充実させています。	

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上		80%以上	■	

①-2 地域材の使用部位			② 地域材の利用に関する補足説明
主要構造材	土台	有	あいち木の家では内部の床、壁、天井等の一部に板材（地域材）を使用し、「木の家らしい木の家」として木の良さをデザインすることとしています。
	柱	有	
	梁・桁等の横架材等	有	
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無	
造作材	枠材、廻縁等	無	
板材	壁板、床板等	有	

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	過去の地域材需要実績と申請戸数により、事前に木材在庫量の確認を行い、本部事務局に情報を集約して、需要と供給のバランスを取るようにする。	
② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	施工グループ各社の住設機器の特徴を確認してまとめ、またより省エネ効果の高い機器の選択や学習によって選定して、建材メーカーに協力要請してコスト削減に取組	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	地域材の供給可能な在庫状況を月次毎に事務局が把握し、施工グループ各社に定期的に配信する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	共通施工基準書に基づく施工の実施をめざし、省エネ施工に関しては省エネルギー技術講習会の施工講習を受講する事とか再確認や研修によって、施工技術の向上と共通化を図る	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の維持管理計画書を作成し、引渡し時に、内容説明を行い提出する。定期点検は維持保全計画にのっとり、担当施工業者が管理点検をし住宅履歴情報の蓄積を行う。定期点検後はその内容を事務局に報告して管理する。またメンテナンスの技術向上のための研修会も行う。	
⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外）	有	
内容	設計段階にてグループの共通ルールの確認検査をし、完成時に現場検査を行う。また第3者監理の検査も推奨する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	木材の木拾い表の作成などにより一式見積をなくし、消費者にわかりやすい用語の使用や見積説明の図面や資料添付を共通の取組みとする。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	すでに導入済みの会社もあるが、検討中のところもあり、経験交流や学習会などで取組の研究を促す。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	資格手当を実施している会社もあるが、検討中のところもある。経験交流や学習会で研究を促す。
③ 社会保険への加入	有	内容	多くは社会保険に加入の徹底の取組がされている。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	健康診断の取組みと安全講習会等への参加取組みがあり、今後も講習会への参加を促進する。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　<様式3－4>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（3）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	三河材でつくる木を活かす家づくりの会				
H30採択グループ番号	07	—	0757	—	0467

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	畳の見直しや現代的な活用方法の研究や、素材や健康被害の少ない防虫材の研修会等を行う。
② 和瓦の活用	有	内容	和瓦の見直しを行い、街並に調和した住まいづくりの研修会等を行う。
③ 襖・障子の活用	有	内容	襖や障子を活用し、和の現代的モダンデザインの実現の為の研修会等を行う。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	あいち木の家では山間部では板壁であったり、平野部では土壁などの古来の地域に根ざした構法や瓦や和紙などの風土に合った素材を現代的にアレンジして選定を行うようにする為の研修会等を行う。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	夏の日差しを和らげる軒の出の深い家や冬の日差しが入る南の大きな窓などを基本とし、地域に残る古民家より学ぶ地域の気候風土に合わせた住まいづくりの研修会等を行う。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	地域の特性や世代別特性もある多様な住まい方に合わせた研究と、相談会などの開催と学習会を計画していく。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	形状、高さ、色使いなどの街並に調和していくデザインの研究や、微気候を意識した樹木のある外構計画の学習会も開催していく。

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

特になし

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

地震等の災害発生時のマニュアルの作成を検討している。また建築士には応急危険度判定士などの資格の取得を推奨する。